

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 179番
- *交読文 39番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 174番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 390番
- メッセージ いのちと死の二者択一とは(ガラテヤ 3:9-14)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 521番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

「私は、きょう、_____に対して天と地とを、証人に立てる。私は、いのちと死、祝福とのろいを、_____の前に置く。あなたは、いのちを選びなさい。」

(申命記 30:19)

_____の戦いの武器は肉のものではなく、神に由来する力であって要塞も破壊するに足ります。_____は理屈を打ち破り、神の知識に逆らうあらゆる高慢を打ち倒し、あらゆる思惑をとりこにしてキリストに従わせ、また、_____の従順が完全なものになるとき、すべての不従順を罰する用意ができています。(2コリ 10:4-6) ひとりのみどりごが_____のために生まれた。ひとりの男の子が_____に与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神／永遠の父、平和の君」と唱えられる。(イザヤ 9:1-5)

私達の毎日は選択の連続であり、その都度、罪と死の法則は降ろし、いのちの御霊の法則を選び続けるなら、パウロのように永遠において充実した歩みができる事を前回学んだが、「いのち」と「死」の選択についてもう少し詳しく見てみたい。

『主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住ませ、人がそこを耕し、守るようにされた。』(創世記 2:15) 主は、私達を住むべき領域に置き、そこを耕し守り、管理するようにと、私達をその場所に置かれている。私達は主が置いて下さった場をしっかりと耕し守り管理するべきで、正しくそれをするならそこはエデンという喜びの楽園となるのだが、主が置かれた生活ステージには、無視できない「二種類の木」がある。

『園の中央には、**命の木**と**善悪の知識の木**を生えいでさせられた。』(創世記 2:8-9) 人類、誰もが必ず通る「二者択一」がある。それは、いのちの木を取るか、それとも善悪の知識の木を取るか。これは人類創造以来、全ての人が避けて通れない究極の選択である。究極の二択というと、「善か悪か」と思われやすいが、そうではない。**聖書が提示する究極の選択は、まさに「いのちか、善悪判断か」**であり、「善悪判断」こそ、選択してはならぬ「死に至る選択」である。善悪を知る事とは、すなわち、神のようになる事である(創世記 3:5,22)。人は神のようになろうという誘惑によって善悪の実を取って食べ、また、サタンも、神のようになろうとして地に落とされた。(イザヤ 14:14) 神の命令を”敢えて”超え、神から独立した善悪判断をする道は、死へと導かれてしまう道である。

善悪の実を食べた時、真っ先に人に起こった事は、**目が開かれた事**(創世記 3:7)、こうしてある意味、人は神のようになった。その”神のようになった”彼らが、最初に気づいた事は、自分達は実は裸であった事だ。そして、彼らが最初に働かせた善悪判断は、恥ずかしい所をいちじくの葉で隠そうという「取り繕い」だった。このように、神のような開かれた目で周りの状況や人間をじっと見、善悪判断する事は、自らに死を招く。神から離れ、神との関わりが絶たれた人間は、所詮裸であり、弱い者であり、罪深く何も出来ない者である。自分の弱さや裸を覆うために、人は力や知識を向上させ、技術を発展させ、自活して生きるようになったが、その生き方こそ、アダム以来の「呪いの生き方」の本性である。あれをして良いのか悪いのか、あそこに行っているのか悪いのか、それをひっきりなしに伺いたがる人がいるが、そのように「善悪を知る木の下で支配される生き方」そのものこそ、呪いの生き方だったわけである。

律法は善悪の集大成であり、律法の行いの内にある人は、全て、呪いの中にある。(ガラテヤ 3:10-12) しかし、キリストは呪いの木にかけられ、私たちを、その律法の呪いから贖い出して下さった。それは、信仰によって義とされるアブラハムの祝福が私達にも及び、私達も信仰によって約束の御霊を受けるためである。(同 13-14 節) イエス様を信じる人には、聖霊が与えられ、もはや「善いか、悪いか」という善悪判断の呪いの中ではなく、聖霊が教えて下さる導きに従って歩むのだ。(ヨハネ 14:26)

今、私達が選ぶべき「いのちの木」は十字架であり、「いのちの実」は、まことの食物・イエス・キリストである。「わたしは命のパンである。…これは天から降って来たパンであり、これを食べる者は死なない。わたしは天から降って来た生きたパンである。このパンを食べるならば、その人は永遠に生きる。」(ヨハネ 6:48-51) キリストは十字架上で自分の一切の善悪判断を捨てられ、ただ、御父のみこころに委ねられた。今私達も彼のように自分の全てを降ろし御心に委ねるべきであり、その委ねるべき御心とは御言葉である。『**知恵(御言葉)は、これを捕える者には命の木**である、これをしっかりと捕える人は幸いである。』(箴言 3:18) だから、御言葉をしっかりとくわえ捉える人、そこに記されている事を心に留めている人ほど、命の実をたくさん得ており、それを守り行う人ほど、いのちの実をたくさん食べているわけである。「自分は今何を考え、何を感じ、何を判断しているのか」を採用し続けるなら、死へと導かれてしまう。御言葉には何と書かれてあるか、そちらを採用し、自分の善悪判断を下ろすなら、命を得るのである。もはや「神のような開かれた目」で、善悪判断する生き方は止め、呪いの木に架って下さったキリストといういのちの実を食べ、ますます命を得て行く皆さんでありますように！イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00
聖書の学び 15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈禱会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈禱会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト